

【総合的な学習の時間】 第6回授業 指導案

芝浦工業大学柏中学高等学校 探究科

1. 単元名 情報の収集-前編

2. 本時の概要

本時は、生徒が日々の学びを自律的に管理するための「LIFEログ」の習慣化と、探究活動の質を左右する「情報の収集」の基礎スキルを習得することを主題とする。

探究活動において、適切な課題解決や仮説設定を行うためには、質の高い情報収集が不可欠である。医療において診察が診断の成否を決めるように、探究でも「実態の把握」と「原因の解明」という2つの視点で情報を集めることが、診断ミス(問いの設定ミス)を防ぐ鍵となる。先行研究を調べ、既存の知識を整理した上で自らの「問い」を立てるプロセスを体験させることで、論理的かつ客観的な探究の姿勢を養う。RefNaviなどのツールを活用し、文献情報を正確に管理する情報リテラシーの育成も目指している。これらの活動を通じ、生徒が主体的に問いを深め、粘り強く探究に取り組む態度を育てることをねらいとする。

3. 本時の目標

- **LIFEログの意義と方法の理解:** LIFEログの意義を理解し、ルーブリックの「レベル3(変化に気づき、次につなげる)」を意識して、教科学習や学校行事などの自己の活動を客観的に振り返り、言語化できる。
- **情報収集の重要性の理解:** 探究における情報収集の重要性を理解し、医療の例えを参考に「実態の把握」と「原因の解明」という2つの視点を持って、自らのテーマに関する情報を主体的に収集しようとする。
- **調査をもとに新たな問いを立てる:** 先行研究の調査を通じて得られた情報を「RefNavi」に適切に記録し、既存の答えから「すぐに答えが見つからない問い」を新たに立てることで、探究を深めることができる。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:
 - 授業スライド 第6回
- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館
- 参考文献
 - 佐藤郁哉(2024)『リサーチ・クエスションとは何か?』筑摩書房

5. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
1分	①本時の内容を確認する ・LIFEログについて ・情報の収集について	スライドを用いて、本時の2つの大きな柱を明確に提示する。
14分	②LIFEログの意義理解と記入 1. LIFEログと「1年間の振り返り」の違い、学びのサイクル(体験→ふりかえる→創る→試す)を理解する。 2. ルーブリックを確認し、レベル3(次につながる振り返り)を目指すことを意識する。 3. 実際にLIFEログを記入する。	・「今日の振り返りが、明日の自分をつくる」というマインドセットを促す。 ・単なる事実の記録(レベル1)で終わらせず、自分の考え方の変化を書くよう指導する。 ・タイトルには「何を学んだか」が伝わる短い言葉をつけさせる。
10分	③情報収集の方法を学ぶ 1. 探究ステップにおける情報収集の位置づけを確認する。 2. 医療の診察を例に、「実態の把握」と「原因の解明」の重要性を理解する。 3. 問いの種類を参考に、既存の答えから新たな問いを立てる流れを理解する。	・「情報収集をおろそかにすると診断ミス(探究の失敗)につながる」ことを強調し、重要性を実感させる。 ・先行研究を調べる際は、文献番号や請求記号を正確にメモさせるよう伝える。
20分	④探究活動の実践 1. 探究ノート(STEP1~4)を用いて、テーマの絞り込みやキーワードの選定を行う。 2. 先行研究を調べ、得られた情報を「RefNavi」に記入する。 3. 調査をもとに、探究ノートへ自らの「問い」を立てる。	・テーマ設定が終わっていない生徒への個別支援を優先的に行う。 ・テーマが決まった生徒には、キーワードのポイントや「理由」の深掘りを助言する。 ・RefNaviへの入力項目(図書館名、請求記号等)を巡回して確認する。
5分	⑤本時の振り返りと記録 1. 探究ノートに「日々の活動記録」を記入する。 2. 次回までに取り組むべきことを整理し、片付けを行う。	・活動記録には「本日の内容」だけでなく「次に(次までに)行うこと」を具体的に書かせる。